

# JCI-TC131A 性能設計対応型ポーラスコンクリートの施工標準と品質保証体制 の確立研究委員会

## 第3回 研究委員会 議事録(案)

■日時 : 2013年10月29日(火) 13:00~17:00

■場所 : (公社)日本コンクリート工学会 第5会議室  
(東京都千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビル11F)

■資料 : 3-0 議事次第  
3-1 第2回委員会 議事録(案)  
3-2 シンポジウム会告原稿  
3-3, 3-3' 委員名簿  
3-4-1~6 品質・性能WG資料(文献整理の経過報告)  
3-5 現場WG資料(ポーラスコンクリートを用いた現場施工の実績)  
3-6 製品WG資料(ポーラスコンクリート製品に関するアンケート)

■出席者 : 畑中、岡本、梶尾、国枝、三島、浅野、伊藤、上野、加形、片平、木村、齋藤、兵頭、柳橋、麓、平  
岩、成田、鶴田、玉井、高山、杵本 以上21名

### ■議事 :

1. 委員長挨拶(畑中委員長)
  - ・親委員会より、早く規格や規準を作製して欲しいとの意見をもらったとの報告があった。
  - ・各WGの検討において、委員会の名称を再確認した上で、検討を進めて欲しい。
  - ・課題の抽出後に、WGを再編することもあり得る。
2. 前回議事録(案)確認(三島幹事)
  - ・資料タイトルが「議事次第」となっているため、「議事録」と修正して承認された。
3. 委員会名簿について
  - ・新任の兵頭通信委員(鳥取大学)の紹介があった。名簿の分野の欄は農業土木系であるため「土木」とすることが確認された。
  - ・前回委員会で承認された海外通信委員(3名)も名簿に追加することとした。
  - ・名簿に関して、修正があれば大野氏に連絡することとした。
4. シンポジウム開催について
  - ・基調講演を島谷先生(九大)から畑中委員長に変更したことが報告された。理由は島谷先生に連絡がつかなかったため。
  - ・基調講演のもう1件は、高田佳彦氏(阪神高速)に決定したことが報告された。
  - ・終了時間が、前回の17:00から17:30に変更になったことが報告された。
  - ・畑中委員長が基調講演を担当することになったため、役割分担が以下のように変更となった。  
開会挨拶 : 畑中委員長、全体概要・総括および閉会挨拶 : 岡本副委員長
  - ・上記の担当者の変更に関する会告の修正は大野氏にお願いすることとした。
  - ・現在の申込みが3名であることが大野氏より報告された。」
  - ・コンクリート工学11月号には会告の修正版は間に合わなかったため、12月号に修正版を掲載することとした。
  - ・参加者数50~60名が採算ラインとなるため、各委員2~3名の動員をお願いすることとした。
  - ・委員は参加費を支払うことはしないこととした。
  - ・シンポジウムの配付資料の原稿メ切は12/13(金)とした。但しこのメ切はぎりぎりのラインであるため、なるべく早い原稿提出を心がける。
  - ・資料の体裁は、パワーポイントの画面を1ページに4画面程度割り付ける形式を基本とするが、記事や文書でも良いこととした。ただし、転載の可能なものに限る。

- ・高田氏（阪神高速）にパワーポイントを資料原稿として良いかを確認することとした。
  - ・製本はJCIにて行い、スライド式ホルダを用いる。紙の枚数は50枚程度までOKであるので、ページ数は100Pを上限とする。
  - ・ページ数の割り振りは概算で、基調講演15P×2件、WG報告20P×3件程度とする。
  - ・資料には表紙と委員長挨拶は付ける。目次はプログラムとし、ページ数は付けない。内容の切れ目に色紙をはさむ。
  - ・各WGの報告についても、タイトルを付けることとし、決定次第大野氏に連絡することとした。
  - ・玉井委員より、現在問題となっている集中豪雨対策や沿岸の漁場整備、低炭素社会への貢献など、市民に対して判りやすいものを提示することで、市民権を得る努力をして欲しいとの意見が出された。
  - ・玉井委員より出された将来展望に関する内容は、シンポジウムの開会・閉会挨拶や概要、総括などに取り入れて紹介することとした。
  - ・シンポジウムの会告は、大野氏よりメールニュースで送信してもらうこととした。
5. 各分科会活動（2時間程度、休憩含む）
- ・3WGに分かれて審議が行われた。
6. 各分科会活動報告（各20分、審議含む）
- 6.1 品質・性能WG
- ・各委員がテーマ毎に文献整理を進めている。
  - ・分科会では資料（3-4-1～6）に基づき、各委員から現状の文献調査状況の報告を行った。
  - ・シンポジウムでの報告内容は、現在進めているテーマ毎の研究動向を、各委員パワーポイントで2～4枚程度に取りまとめてもらい、それを報告する。
  - ・報告内容は研究のトレンド、品質の評価項目と測定方法、目標性能と各種特性の関係、研究の欠落点、など。
  - ・海外通信委員からの情報も紹介する。
  - ・配付資料には文献リストも付ける。
  - ・最終報告に向けては、報告書の執筆要領を大野氏に送っていただく。
  - ・テーマ分けのカテゴリに不整合があるとの意見があった。→現状では、基礎物性+使用材料+各種用途、という分類で整理している。現状ではこのテーマ分けで進め、今後、他WGの意見を反映させて最終報告に向けた調整を行う。
- 6.2 現場WG
- ・ポーラスコンクリート独自の性能と用途について取りまとめた。
  - ・次回までに発注者の要求する性能とそのレベルを抽出（or設定）する予定。
  - ・シンポジウムでは上記内容の状況報告を20min程度、吹付けポーラスコンクリートの紹介を10min程度の予定。
  - ・吹付けポーラスコンクリートについては、他の先行技術との関係などを確認しておく。
  - ・3-5の資料は各委員から集めた事例調査結果であり、品質項目としては、強度、空隙率、透水性が主。
- 6.3 製品WG
- ・シンポジウムの内容は「製品分野における課題の再整理」
  - ・アンケート内容は、性能として使用する言葉をわかりやすく変更する。（水を綺麗にする、緑を生やす、など）
  - ・閾値も聞く。
  - ・発注者へのアンケートも実施したい。
  - ・ニーズや製品の種類の変遷も聞く予定。
7. 今後のスケジュール確認
- 7.1 シンポジウム（中間報告会）：12/21(土)13:00-17:30@名城大学名駅サテライト
- ・シンポジウム当日は、発表者は12:00に集合、その他の委員は12:30に集合。
- 7.2 次回委員会：2/7(金)13:00-18:00@JCI会議室
- ・次回委員会にて、次年度の予定を決定する。
  - ・報告会は再来年度
  - ・共通試験のテーマを出し合っておき、次年度に実行する。
8. その他
- ・特になし

